

鳥信 WEB 版 2020 年 9 月号

＜筑後エリア＞

今シーズンはコロナの影響もあってか鳥信が少ない状況でした。

もともと夏場の鳥は観察機会が少ないようですが、今年はブッポウソウのペアが戻ってきたくれましたので、まとまと観察情報が届きました。

残念ながら三池島のベニアジサシは今年は確認できませんでした。

*6月4日 サシバ*1・矢部村杣の里

*6月7日 クマタカ*1・矢部村杣の里

*6月9日 ヤイロチョウ*囀り/アカショウビン*囀り/ジュウイチ*囀り・矢部村杣の里 Mt.Shige

矢部村杣の里では6月9日にヤイロチョウの囀りが11:45と14:30に2回程聴かれました。物産館の南側の御側川の渓畔林付近です。その後2回程確認に行きましたが、聴くことができませんでした。

大吊り橋から左下のヤマメ釣り場付近の東側斜面では、三度程アカショウビンの囀りが聴かれました。又、大吊り橋の北側の山間部では時々ジュウイチの囀りが聴かれました。

クマタカは4回程確認に行きました。南側棲線から2回、北側棲線から2回から出てくれました。2羽飛翔しているのを観たので"番い"の可能性が高いと思います。

*7月2日 アオバズク・八女市黒木町笠原・富永 誠

四季菜館前にある神社の椋木にアオバズクが巣穴の方を見て守っていました。



▲アオバズク 撮影：富永 誠

*7月19日 アオサギの巣とゴイサギ・筑前町木池・池長裕史

夏鳥は見に行くのも暑くて大変ですが、水場なら少しば涼しさも感じられるでしょう。



▲アオサギの巣 撮影：池長裕史



▲ゴイサギ 撮影：池長裕史

*8月1日 クマタカ・古処山・野田 (美)

これまでずっと振られていきましたが、やっと古処山系でクマタカを見ることができました。写真は江川岳（古処山と馬見山の中間）の上空で帆翔している成鳥です。生息確認として報告します。

繁殖の確認として家族群で飛んでくれることを期待していたのですが、確認できたのは成鳥2羽のみでした。



▲クマタカ 撮影：野田 (美)

八女市矢部村日向神ダムのブッポウソウ

*7月1日 松富士将和

今日、月も変わり、天気も良くなつたので、日向神のブッポウソウの確認に行ってきました。やはり、2羽が、いつもの道の駅側のダム側の穴から出て、川側の電線に止まりました。しばらくして、1羽は巣穴に入り、出てきませんでした。2羽でいるのは短く、写真もぼけていますが、とりあえず確認の写真です。周辺では、ヤマセミ1羽、ミサゴ3羽、トビ1羽、カワウ13羽、アオバト数羽がいました。

なお、途中の桜の木では、ハシブトガラスとトビが1m程の間隔で見合いをしていました。

なお、水を汲みに行った竹原部落から500mほど行った道路で、目の前を黃金色の狐が道を横切りました。初めての狐でした。輝く黄金職の尾と、先端の白い尾の先が印象的でした。

*7月18日 松富士将和

昨日、矢部川の水の調査があり、新入会のTさんを案内して、ブッポウソウの営巣状況を確認に行ってきました。親2羽がいましたが、うち1羽は15~20分おき位にいつもの巣に入って餌を与えていました。（まだ、雛は巣立ってはいない様でした）

ただ、近所のが、4羽確認されているといわれましたので、前に4羽いるのでは、本当のようでしたが、それではもう一組は、どこ？・・・ということになりますが、笹又橋にはいませんでしたし、西園橋の巣箱、体育館の巣箱もいませんでした。

他の巣箱も一度、全部確認する必要がありますね。

*7月19日 大藤和浩

今（7月19日）、西園橋に来ています。

最初2羽でしたが、ゲッゲッと鳴き始めたと思っていたら、もう1羽出てきました。無事巣立ったようです。3羽が鳴き交わしながら、トンボらしき虫を夢中でとっていました。

3羽目が現れたところで、雛鳥だと思い込んでしまい、夫婦で盛り上がりてしまいました。

写真を改めてみると、3羽とも成鳥のようですね。お騒がせしました。

親子だと思って、3羽が揃った写真1を取りましたが、そうでないと思うと写真2も、鳴き交わす声も違うものに思えてきます。

一方で、妻が途中で4羽居たと言っていたのですが、本当に2組の番が居たのかもしれません。（私は同時に4羽居たところは見ませんでした。）

ブッポウソウを見るのも、今季は今日で最後だと思ってましたが、未だ巣立ちしていないのであれば、もう一度くらい日向神詣でをしようかと思っています。



▲ブッポウソウ・日向神ダム 撮影：大藤和浩

*7月22日 野田（美）

今日は夏休みが取れましたので、西園橋のブッポウソウを見に行ってきました。そろそろ巣立ちが近いとのことで、この時期に行かないと見られなくなると思い、悪天候を覚悟して出かけましたが、なんとか天気はもってくれました。

確認できたのは成鳥1羽のみで、観察していた小一時間の間、ずっと西園橋そばの電線で虫を狙っており、セミやトンボなどを捕まえてから4、5回、巣に給餌に入りました。巣の中から雛らしき声も聞こえていましたので、まだ巣立ってはいないみたいです。



▲オニヤンマを捕まえたブッポウソウ 撮影：野田（美）



▲ブッポウソウの飛翔 撮影：野田（美）

*7月30日 田辺憲子

私も矢部村に行きました。その時は2時間ほどいたのですが、親鳥が一羽だけ一度だけ現れしばらく電線に止まったり、餌を採ったりしていました。しかし巣の方には近づこうともしませんでしたので、てっきり巣立ったのかと思っていました。残念です。

*8月6日 松富士将和

明日、明後日（8月7、8日）と雨になるということで、今日、ブッポウソウヒナの確認に行ってきました。

先にチラッと寄った西園橋は、2羽が電線に止まっていましたので、道の駅で食事を済ませ、日時計広場や笹又橋と上流の巣箱を確認の後、立ち寄りましたら、姿が見えないので、矢部村の栗原さんに電話しましたら、10日ほど前に、巣が襲われ、雛が食われたようだということで、唖然としました。

その後、40分ほど西園橋にいましたが、親鳥も姿が見えませんでした。

また、昨年架けた源流公園日時計広場の巣箱の、NO.5と、NO.8には巣を利用した後がありました。
(笹又橋上流と、西園橋上流は利用した後はありませんでした)

また、もう一度確認に行きたいと思いますが、皆さんもヒナが残っていないか、親鳥はどうなっているか、確認いただけたらと思います。



▲No.8の巣箱



▲西園橋上流の巣箱

撮影：松富士将和

*8月7日 松富士将和

先のメールで書き忘れていましたが、襲ったのはカラスということでした。巣穴の入り口の大きさが、ブッポウソウの場合は8cmとなっていますが、西園橋で幅が10cm以上、長さが20cmほどはありますので、カラスも首を突っ込むことが出来たようですね。

親鳥は激しく抵抗したようですが、何しろ体の大きさが違いますので、防ぎきれなかったようですね。
(村の方が、その状況を見ておられたということでした)

一度味を占めれば、何度も襲うでしょうから、何度も襲われて、結局ヒナは、いなくなつたようです。